第118号
平成26年4月

フクタニュース

発　行
(株)フクタ
砕石部

あたりまえ をやります！

新年度が始まりました。当社にとっては四三年目のスタートとなります。景気は底を脱したと言われていますが、これからが正念場です。しっかりとした明るい未来の為に、あたりまえのことをあたりまえにできるよう努力していきましょう。

もっと 新しいこと①

３月にハイブリット型油圧ショベルを導入しました。コマツ製ＨＢ２１５（バケット容量0.8㎥）で、車体旋回減速時に発生するエネルギーを蓄電器に貯え、これを発電機モーターを通じてエンジン加速時の補助エネルギーとして活用するシステムです。これにより当社の同型機と比較して30％程度の燃費向上が期待できます。微々たる数量ですが、ＣＯ2削減にも貢献できそうです。

もっと 新しいこと②

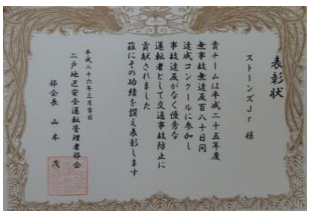
消費税８％への変更とWindowsXPサポート終了に合わせ、出荷請求システムの変更を実施しました。 基本的機能はそのままですが、受注数量や納入予定時期を入力することで、週単位や月単位での納入予定数量を把握することができ、生産計画に反映できることになります。生産量、出荷量、在庫量が一元的に見えてくることを期待しています。

競争か共生か

１０数年、事務所の真中に置いていた観葉植物（迂闊なことに名前がわからない）が、とうとう枯れた。幹を２本出していて大きい方は樹高が２m以上になっていた。その大きい方から枯れ始め、小さい方の葉もほとんど落ちて観葉植物の体をなさなくなった。これも自然の摂理と忍びがたきをしのび、心を鬼にして切ってしまった。すると、待ちかねたように、緑鮮やかな草が元気よく伸びてきた。鉢の中の限られた栄養分をめぐって、人知れず闘いがあったのかもしれない。
『小よく大を制す』なのだろうか。人生の縮図を見ているかのようである。

安全運転　ヨシ！

無事故無違反１８０日間達成コンクールに毎年参加している。今年も『フクタストーンＪｒ』（若手精鋭５名）が無事故無違反を達成し、この程カワイイ表彰状と記念品を頂きました。これからも安全運転をお願いします。



安 でsite ～活かして使う～

鎌倉時代に書かれた方丈記に『土木』という文字が出ているらしい。昔から土や木材を材料に、安全で快適な環境を作る作業が行われていたのだろう。その『土木』の土。どこにでもある優秀な材料である。ただし、やっかいなことは含水量によって性状が著しく変わってしまうことである。国土交通省『発生土利用基準』によると、粒度と含水比により第１種から第４種に分類され品質の目安が示されている。分別や管理が可能な土は立派な資源となりうる。何ごとも活かして使う工夫が必要であろう。

注意一秒　ケガ一生

毎週月曜日　岩手建設工業新聞の２面にコラムが載る。見てきた話を枕に建設業界の想いが綴られている。

ある月曜日、紙面を見てもどこにも見当たらない。海外出張にでも出かけたのだろうかと思っていたら、翌週の紙面に、階段から落ちて重傷を負ったことが自戒ぎみに書いてあった。事故はいつ、どこで、誰が遭遇するのかわからないものだと思った。

岩手県内では年初から労災死亡事故が多発している。２ケ月で１１件という異常なペースである。当社でも３月病院のお世話になる事故が発生した。幸い、休業４日で済んだのだがドキっとする出来事であった。事故の教訓を具体的な形として活かし、繰り返さないこと。色々な事故の事例を聞くにつれ、身の引き締まる思いのする３月であった。

日曜日は雪曜日

『まいりました。かんべんしてください。』と言いたくなる程、カレンダーの赤い日には雪が降った。春分の日の大雪にはさすがにうんざりしてしまったが、追い打ちをかけるように３月３０日の夜に降った。重い雪と格闘する月曜日は何回目だろうか。
雪解けにより川も増水し、河川工事も休業状態。冬も異常気象ということなのだろうか。

編集後記

新年度のスタートです。今年度も皆さんが忙しいという声が聞こえるとくといいなと思います。
でも安全第一！無事故無災害で一年頑張りましょう。